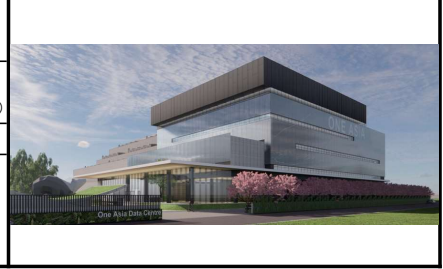


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Project Seiryu 小田原 HI-Tech Park 新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県小田原市国府津字三ツ寄2781番1ほか3筆	構造	RC造
用途地域	市街化区域・工業地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年12月 予定	評価の実施日	2023年1月25日
敷地面積	29,241 m <sup>2</sup>	作成者	(株)エネ・グリーン
建築面積	8,602 m <sup>2</sup>	確認日	2023年1月26日
延床面積	30,463 m <sup>2</sup>	確認者	(株)エネ・グリーン



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新・維持管理のしやすい設計に加え、耐用性にも優れた建物の計画</li> <li>高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の低減に努めている</li> </ul>	特になし
<b>Q1 室内環境</b> 対象外	<b>Q2 サービス性能</b> ・階高や空間の形状・自由さにゆとりを持たせ、将来の用途変更可能性を考慮した ・給排水配管に長寿命材の採用、OAフロアの採用等により更新・維持管理のしやすい配慮がなされている
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率設備の採用等により、省エネルギー性に配慮した	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・省水型便器、自動水栓の採用により節水性を高めた計画
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・可能な限り緑化に努め、周辺のまちなみや風景に調和するよう配慮した
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・省エネルギー性能に配慮し、LCCO <sub>2</sub> 排出率を削減している ・複数出入口の計画により周辺道路への渋滞緩和へ配慮

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される